



1963 TOYOPET CROWN (RS41)

CSR REPORT 2024

茨城トヨペット CSRレポート 2024



Web版はこちらから

Toyopet

since 1956

日本一、“ありがとう”で溢れる会社へ

CSR REPORT 2024

CONTENTS



2023 CROWN CROSSOVER

04 トップ・メッセージ

今こそ、変化を恐れない組織づくりを

06 『お客様と一生涯“笑顔”的おつきあい』の想いを胸に。

茨城トヨペットで活躍する、個性豊かなメンバーたち

08 社員への取り組み

それぞれが個性を活かし、イキイキと働く環境を作るために

09 1人の100歩より、100人の1歩。

茨城トヨペット CSR活動履歴(概略)

10 持続可能な発展を実現する社会をめざして

CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針

12 社会貢献活動

これからも、地域に密着した企業市民として

14 特集／でんきについて考える

持続可能な社会の実現の重要性をお客様と共に

16 環境保護活動

地球環境の保護と豊かな社会を実現するために

18 環境報告

地球のため、地域のため、未来のために

20 会社概要・店舗一覧

県内全域に及ぶ安心のネットワーク

22 ご意見・ご感想

お客様から寄せられたメッセージ

CSR CSR = 「企業の社会的責任」 Corporate Social Responsibility

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境へ与える影響に責任を持ち、企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、企業として適切に応えることです。

編集方針

本レポートは、茨城トヨペット株式会社のCSR(企業の社会的責任)に関する取り組みを、“お客様”“地域の皆様”“取引先”“社員”的4つのステークホルダーの皆さまに対しわかりやすい取り組み報告となるよう努めました。

CSRの取り組みは、皆さまとの対話なしには成り立ちません。

本レポートをコミュニケーションの一助としてお読みいただき、巻末のアンケートフォームからご意見をお寄せいただければ幸いです。

本レポートはスマートフォンやPCでもご覧いただけます。

スマートフォンの方は表紙に記載の二次元バーコードから、PCの方は下記URLから茨城トヨペットのホームページへアクセスしてご覧ください。

<https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/csr>

TOP MESSAGE

今こそ、変化を恐れない組織づくりを



茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長

幡谷 俊一郎

茨城トヨペットCSRレポート2024をご覧いただきありがとうございます。

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

改めて最近の異常気象を起因とする自然災害など、日頃の防災意識を高めるとともに、地域と連携した防災・災害対策に取り組む必要性を強く感じました。

全員でカーボンニュートラルを考えていこう

今、日本の自動車産業は、全世界で急速に推進されている二酸化炭素(CO₂)削減の取り組み「カーボンニュートラル」に全力でチャレンジしています。ハイブリッド車(HEV)、電気自動車(BEV)、燃料電池自動車(FCEV)の開発や普及促進、生産工場におけるCO₂排出量削減など、カーボンニュートラル達成の目標年である2050年に向けて課題の解決を目指しています。

私たち茨城トヨペットでは以前からカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現へ向け、積極的に様々な環境

への取り組みや提案をしてまいりました。

その取り組みの一つとして、現在5店舗でソーラーパネルを設置し、CO₂排出削減に取り組んでいます。直近では自分達で電気を作り、自分達でエネルギーとして使う自家消費発電ができる環境を整え、環境負荷をかけない活動を進めております。

今後は、事業活動での電気量・燃料使用量を細かく数値化・可視化することで省エネへの意識を高め、メンバー全員でカーボンニュートラルについて考えていこうと動き出しています。

また、地球環境を守っていく活動を地域の皆様と共に進める取り組みとして、全国の自動車ディーラーで初めてCO₂を削減する「グリーンでんき」の取り扱いを始めました。その他、県内8社のトヨタ販売店が協力し、FCEVに水素を供給する「水素・EVステーション水戸」を設置するなど、車も家も環境に配慮した快適な暮らしを提案しています。

子どもたちへ、次世代へ、未来の地球環境をより良いものにすべく、茨城トヨペットは環境保全・地域貢献活動をこれからも展開していきます。

次世代への技術継承という想いから

茨城トヨペットは、私たちが取り扱ってきたクルマを長年愛用し、思い出を育んできたお客様に向けて、旧車のレストアを新たな事業として展開しました。

レストア事業を始めるにあたり一つの側面として、次世代のサービスエンジニアへ「技術継承」をしていきたいという想いがあります。

現代のクルマは昔に比べて各部品がユニット化され、部品交換のみで修理完了することも少なくありません。将来、BEVやFCEVが増えていくとその傾向はますます強まるでしょう。それ故に、今まで培ってきたガソリン車の修理に関する技術や知識が疎かになる恐れもあります。

私たちは「お客様と一生涯“笑顔”的おつきあい」「カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち」を基本理念としています。お客様が長年大事にしてきた愛車を修理できる技術は何がなんでも残していきたい。お客様の笑顔のために、その技術継承を会社の仕組みとして行っていきたいという想いがレストア事業を始める動機となりました。

レストア事業の第一歩として、2024年2月17・18日にパシフィコ横浜で開催された日本最大級のクラシックモーターショーである“ノスタルジック2デイズ2024”に1980年代に人気を博したマークII(GX71)をレストアし出展いたしました。イベントではたくさんの方と当時の想い出などを共有することができ、初出展の目的は十分に果たせたと思います。

今後は皆様の声を反映できるようにレストア事業の本格始動に向けて鋭意準備を進めております。

組織の多様化と個人の多様化を

アフターコロナを迎えた今、ダイバーシティ(多様性)の時代と言われています。現代ではライフスタイルが多様化したことにより、働く人の置かれた個々の事情に応じた多様な働き方を選択できる社会の実現が求められています。

「ダイバーシティ」という言葉だと安易に捉えられがちですが、性別も国籍もバックボーンも違う人が集まることでイノベーションを創出し、

企業価値を向上することができることだと広義に解釈しています。

労働人口の減少や社会の価値観の変化など、より複雑で解決しにくい問題が山積する現代ですが、これまで同様の人材だけで考える解決策よりも多種多様な人材による発想の方がソリューションの幅が広がると思います。

また「組織の多様化」に対して「メンバー個人の多様化」も必要になってくると考えます。色々なところから情報を取り入れて知識の引き出しを増やし、様々な切り口から解決策を考えたり、複数の情報を組み合わせてアイデアを生み出せる人材こそ「多様性の時代」に必要なのではないでしょうか。

メンバーがそんな人材へと成長していくために、多様性の価値を理解し、メンバーの率直な声を聞くことができ、変化を恐れない組織を作りたいと考えています。

オフタイムに価値を見出す時代

働き方改革が進み「働きやすい社会」が形成されつつあるなか「ワークライフバランス」が重要視されるようになりました。メンバーには仕事(ワーク)と生活(ライフ)の双方を充実させてもらいたいと思っています。

そのために、会社としては年間休日数を増やしたり、男女問わず育児休業を取得できる環境を整えサポートしています。

仕事に偏重していた時代から、個々のオフタイムに目を向けて価値を見出す時代に変わってきています。

プライベートが充実していると仕事でもパフォーマンスを発揮できる。それは会社にとっても大きなメリットだと思いますので、メンバーには家族と過ごす時間やプライベートな時間を作る等、ストレスが溜まらないように上手くワークライフバランスをコントロールして欲しいと願っています。

今回お届けする「CSRレポート2024」、私たちの昨年度のCSR活動を中心にまとめたものです。

当レポートをご覧いただき、皆様からの忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

多様な人、異なる感性が、互いを尊重しながら

『お客様と一生涯“笑顔”的おつきあい』の想いを胸に。



神栖知手店 フロアコンサルタント

末永スタッフ

私は平成22年、水戸千波店にサービスエンジニアとして配属されました。女性の整備士で、当時29歳という年齢での入社だったことを考えると、かなり珍しい経験だったと思います。

その後、アートタワー水戸店でアドバイザー、本社サービス課で店舗スタッフを支援する側にまわり、現在はフロアコンサルタントとして神栖知手店に配属となり、またお客様と関わることを嬉しく感じています。

色々な職を経験させてもらい、その時々の上司や同僚にも恵まれ、私は人としてたくさん成長できたように感じます。どの職種であっても失敗は多々あり、現在も反省と挑戦の連続ですが、自分自身がどうありたいか、どうすべきかを見つめる良い機会となっています。

性別や年齢で制限することなく、たくさんのチャンスを与えてくれた上司や同僚への感謝を忘れず、より自分自身を成長させていくことで、これからの自分の可能性を広げていけるよう努力を続けようと思います。

古河東牛谷店 セールスコンサルタント

三田スタッフ

職場に男性社員の育児休業制度があるにもかかわらず、育休を取らない、または取りづらいと感じている方も多いと思います。

セールスコンサルタントという職種ですと尚更「取る時間がない」「取りたいけど周りからの目が気になる」など、他の職種より育休を取るのが難しいと思われがちです。

ですが、私は夫婦で協力して子育てすることによって家族の絆が深まると思っていますので、今回制度を利用して育休を取得しました。

育休中は、妻の産後のサポートをしつつ、子どもに対しては、父親としての役目を果たすことができました。今回育休を取って本当に良かったと思っております。

ここまで出来たのは、店長や先輩後輩のバックアップがあってこそです。これからお店に恩返しできるよう、精一杯頑張っていきます。



本社 カスタマーコンシェルジュ室
グループリーダー

飯田スタッフ

現在、カスタマーセンターの運営に従事しております。

日々お客様に寄り添い、当社へのご意見を伺っておりますが、より良い改善ができるよう店舗や本社の皆さんと共有しております。

また多様化する様々なニーズにお応えできるよう「もっとお客様や店舗のお役に立ちたい!」と相手の方への思いやりの気持ちを大切にし、自発的に行動してくれる部署のメンバーを誇りに思っております。一緒に働くことができることに感謝するとともに、とても幸せを感じております。

入社以来、営業や採用担当、カスタマーセンターの立ち上げなど様々な業務に携わさせていただきましたが、仕事を通じて多くの方と出会い、様々な気づきや経験をする機会をいただけたことは大切な財産です。

今後もメンバーと一緒に学び、考え、成長しながら、1人でも多くの方々のお役に立てる“志事”ができるように努めてまいります。



茨城トヨペットで活躍する、個性豊かなメンバーをご紹介します。
職種やキャリア、経歴、国籍などのバックグラウンドはそれぞれですが、
『お客様と一生涯“笑顔”的おつきあい』の想いを胸に日々邁進しています！



つくば学園の森店 サービスエンジニア
口ニ スタッフ

私は子供の頃から車が大好きで、自分で整備ができるようになりたくて、プロフェッショナルとしての自動車整備士を目指していました。

入社してから分からぬことがたくさんあり不安でしたが、先輩たちがとても優しく、細かいことを一つ一つ丁寧に教えてくれましたので、今はスムーズに仕事ができます。

また「外国の整備士さんが日本語で説明してくれて凄いね！」「お世話になりました！」「ありがとうございました、頑張ってね」などのお客様との触れ合いが自分自身のモチベーションアップになっています。

休みの日は、家族や友達と旅行に行ったり、好きな料理を作ったりしています。仕事と休日のどちらも充実しているこの環境が今後も続くよう、これからもお客様のお車を丁寧に取り扱い、お客様から信頼されるような存在になりたいと思います。



社員への取り組み

それが個性を活かし、
イキイキと働ける環境を作るために

茨城トヨペットではきめ細やかな独自の教育、研修システムを導入し、社員ひとり一人の個性と人間性を活かした能力開発を推進しています。そして、社員が充分に実力を発揮できる環境をさまざまな角度から検討し、構築しています。

「人の成長」に重きを置いた採用・研修

茨城トヨペットでは『求める人材像』を明確にすることで、社会に必要とされる人材の採用・育成に力を注いでいます。

入社前研修では社会人としての考え方や仕事の流れを伝え、入社後も、求める人物像を目指した研修を段階的に実施。特にコンプライアンスや法令知識等は、社内の専門部署から講師を招き、社会人に必要な講義を展開しています。

さらに、中堅～管理職を対象とした階層的な研修も、時代のニーズに合わせて再構築を実施するなど、「人の成長」に重きを置いた研修システムを構築しています。

ワーク・ライフ・バランスの推進

組織の活性化と総労働時間短縮を図るための勤務体系づくりとして、本社では「フレックスタイム勤務」、営業店舗では「時間差勤務」を導入しています。

また「働き方改革」に先駆けて、2017年8月より「計画年次有給休暇制度(年間6日間)」を導入しています。計画的に有給休暇の申請をする事で家族や友人と旅行に出かけるなど、心身の疲労感をリフレッシュする良い機会として活用されています。

このように、仕事と生活のバランスのとれた“ワーク・ライフ・バランス”的な実現を推進しています。

「子育てサポート企業」として くるみんマークに認定

次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした企業は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができます。この認定を受けた企業の証が「くるみんマーク」です。

茨城トヨペットでは2016年2月に認定を受けています。



ハラスメントの防止

パワハラ・セクハラ等、個人の尊厳を不當に傷つける行為は絶対に許さない決意「ハラスメントは許しません!!」を全社に宣言、職場での悩みごとを職制ラインとは別に相談できる窓口「茨城トヨペットヘルpline」を設けています。



当社の求める人材像

常に豊かな人間性と向上心をもち、社会の発展に貢献できる人材へ

- ① 短期的視点に限らず、中長期的な視点で仕事に取り組める力!!
- ② 人と人のつながりを大切にし、自ら考え主体的に行動できる力!!
- ③ 幅広い見識を持ち、常に前向きにチャレンジできる力!!

入社前～若年次の研修(一例)



内定者懇親会

新たに入社するメンバー同士が互いに知り合い良好な関係を築くことを目的に、内定者懇親会を実施しています。



内定式ワーク

内定式の際にはビジネスゲーム型研修も行われます。写真はストロータワーというビジネスに役立つPDCAサイクルを疑似体験するゲームです。



内定者研修(先輩座談会)

入社前の不安払拭や先輩との交流を目的とした研修です。配属先部署の先輩社員から必要なスキルなどをヒアリングします。



若年次研修(同期から教えてもらおう)

1年次のセールスコンサルタントが、同期のエンジニアからタイヤの付け替え方法等の指導を受けるサービス基礎研修です。



若年次研修(茨城ロボット)

アダストリア水戸アリーナにて試合会場のサポートをする、1年次セールスコンサルタント、フロアコンサルタントの研修です。



GRレース研修(GR Garageつくば)

GR86/BRZ CUPにメカニックとして参戦し、サーキットでレース車両のセットアップ・メンテナンスやクルマの楽しさを学ぶことができる研修です。

1人の100歩より、 100人の1歩。



茨城トヨペット株式会社
代表取締役会長 **幡谷 定俊**

茨城トヨペットの基本理念に「お客様と一生涯“笑顔”的つきあい」という言葉があります。

お客様から「最高の笑顔」をいただくためには、まず社員が笑顔で仕事が出来るような環境を整える必要があります。

これからますます大切なのは、一人ひとりのお客様を想う気持ちです。どうしたらお客様に喜んでいただけるかを、自ら考え自ら行動できる社員が求められます。

当社ではそんな社員を育てる環境づくりに特に力を入れ、社員の目線になって様々な制度やしくみを導入し、モチベーションアップにつなげています。

何よりも、社員のやる気を受け止め、背中を押せる懐深い社風であり続けることが、私の願いです。

1人の100歩より、100人の1歩。

個々の力を束ねて進むことが、会社の成長になると考えています。

茨城トヨペット CSR活動履歴(概略)

1956年(昭和31年)	11月 水戸市五軒町に会社創立
1964年(昭和39年)	本社現在地に移転
1976年(昭和51年)	ふれあいグリーンキャンペーン開始
1990年(平成2年)	茨城トヨペット杯ゲートボール大会開始
1991年(平成3年)	本社・水戸千波店 新社屋完成
2001年(平成13年)	ISO推進事務局開設 環境マネジメントシステム取組開始
2002年(平成14年)	自動車ディーラーとして県内初のISO認証取得
2003年(平成15年)	茨城トヨペット杯小学生ドッジボール大会開始 ISO14001 定期審査、新たに本社及び8店 認証取得
2004年(平成16年)	ISO14001 定期審査、新たに10店 認証取得
2005年(平成17年)	ISO14001 更新審査、新たに2店 認証取得 レクサスつくば開店
2006年(平成18年)	ISO14001:2004(改訂規格)に移行 市町村合併により一部店舗名称変更
2007年(平成19年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 全社で環境マネジメント取り組み開始 セーフティーキャンペーン開始
2008年(平成20年)	ISO14001 更新審査(2回目)、新たに4店 認証取得 環境目標に「販売実績に応じて盲導犬基金へ寄付」を追加 第1回 介助専門士養成講習実施 茨城エコ事業所に全店認定
2009年(平成21年)	ISO14001 定期審査、新たに2店 認証取得 古紙リサイクル開始 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第1回)
2010年(平成22年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第2回) 第3回 介助専門士養成講習実施 太陽光発電を導入したひたちなか昭和通り店オープン
2011年(平成23年)	ISO14001 更新審査(3回目)、新たに1店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第3回) トヨタ原体験プログラム(現トヨタ未来スクール)開始
2012年(平成24年)	太陽光発電を導入した神栖知手店オープン 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第4回)
2013年(平成25年)	ISO14001 定期審査、新たに4店 認証取得 ウェルキャブステーション つくば西大橋店に設置 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第5回)
2014年(平成26年)	ISO14001 更新審査(4回目) 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第6回)
2015年(平成27年)	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第7回)
2016年(平成28年)	ISO14001 定期審査、新たに3店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第8回)
2017年(平成29年)	ISO14001 更新審査(5回目) 太陽光発電、多目的スペース、災害時用井戸を導入したつくば学園の森店オープン 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第9回)
2018年(平成30年)	ISO14001:2015(改訂規格)に移行 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第10回)
2019年(令和元年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第11回)
2020年(令和2年)	ISO14001 更新審査(6回目) 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第12回)
2021年(令和3年)	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第13回) ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得
2022年(令和4年)	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第14回) ISO14001 定期審査
2023年(令和5年)	ISO14001 更新審査(7回目) 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第15回)
2024年(令和6年)	ISO14001 定期審査、新たに2店 認証取得

持続可能な発展を実現する社会をめざして

私たちは、事業の特性を活かした車両提供、盲導犬の育成協力など、茨城トヨペットならではの特徴的な活動を実施するほか、スポーツ・教育支援活動など、地域との共生を図る様々な活動も行っています。こうした活動を持続的に行なうことは、私たちが事業活動を営む重要な基盤になっています。

私たちが住む地球は、地域固有のものから世界規模に至るものまで、さまざまな環境問題に直面しています。それらが深刻化していく中で、多くの企業が持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。

私たち茨城トヨペットは、企業活動における環境負荷削減・環境リスク低減を通じて、持続可能な社会の発展と地球環境保護に貢献していきます。

茨城トヨペットが実践するCSRの3本柱

1 コンプライアンス

お客様の身になって考え、行動していく

法令・社会的規範への対応

人権、消費者への対応
公正なビジネス慣行

【コンプライアンス】とは法律や規則などに従って、活動を行なうこと。

「法令遵守」を意味する語として最近広く使われていますが、私たち茨城トヨペットは、法令遵守を含めた「社会からの要請」へ応えていくことが肝要と考えます。

お客様のお役に立ちたい、社会全体のお役に立ちたい、皆様の喜ぶ顔が見たい、そのために、コンプライアンス、公正・透明性の確保に取り組んでいきます。

2 環境対応

次世代へ残す地球環境への提言

環境保護活動への対応

環境マネジメントの全社運用

地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染、水質汚濁など、今や企業にとって環境問題は避けて通ることはできません。

私たち茨城トヨペットは環境マネジメントの国際規格【ISO14001】に取り組むことにより環境保護活動を推進し『プリウス』をはじめとする環境負荷の低いHEV・PHEV・FCEVなどの電動車の普及、カーボンニュートラルの実現に努めています。



3 社会貢献活動

健全で持続可能な地域社会づくり

コミュニティー参画

地域活動支援
環境活動を通しての社会貢献

私たち茨城トヨペットは、地域の皆様に愛され続ける企業であることを宣言いたします。

上記の地球環境を見据えた環境マネジメントシステムISO14001全事業所認証取得に向けた継続的な活動、茨城エコ事業所登録制度への全店舗認定。

1976年から続いているふれあいグリーンキャンペーンでは県内の各自治体に3,900本以上の苗木を寄贈し続けています。

「環境・地域」愛。
それが、私たち茨城トヨペットです。

4つのステークホルダーから必要とされるために

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境へ与える影響に責任を持ち、企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、企業として適切に応えることです。

私たちにとって社会的責任を果たすこととは、お客様、地球・地域社会、取引先、社員の4つのステークホルダー※のニーズを満たし、満足度を高めることと考えています。

企業価値を高め「地球・地域社会から愛され、選ばれる存在・必要とされる存在」であり続けるために、社会とともに持続可能な発展を目指します。

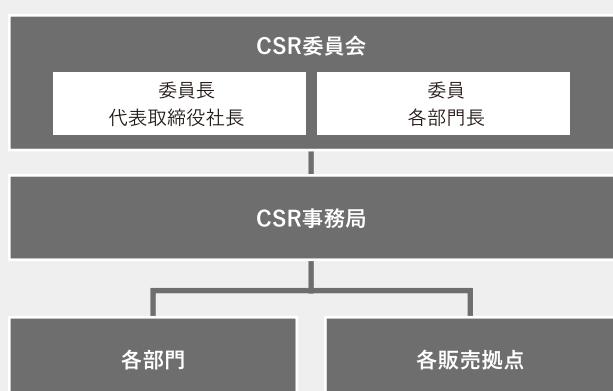


※ステークホルダー：企業に対して利害関係を持つ人のこと。

お客様や社員、株主だけでなく、地域社会までをも含めていう場合が多い。

茨城トヨペットのCSR活動推進体制

CSR活動を推進するために、2006年4月に社長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、本社を中心に各販売拠点等を含めた取り組み方針の決定やCSR活動のレビューを実施しています。また、同時にCSR委員会の下部組織として、社内の代表メンバーで構成する「CSR事務局」を設置しています。





CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針

社
是

「誠 実」 約束を守ること

関係法令を遵守し公正な企業活動と環境保全を行います。

「親 切」 気を配ること

社会、ステークホルダーと調和し、信用を第一義とした企業活動を行います。

「スピード」 時間を大事にすること 既存の常識や枠組みにとらわれることなく新たな可能性にチャレンジします。

【お客様に対して】

- 私たちは、【お客様と一生涯“笑顔”的おつきあい。】【カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち。】の基本理念に基づき、お客様に真に満足頂ける優れた商品とサービスの提供に努めます。
- 私たちは道路運送車両法、消費者契約法、自動車公正競争規約など関連法令およびその精神を遵守し、お客様に信頼される営業活動を推進します。
- 私たちは、個人情報保護法及びその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。
- 私たちは、お客様の要請・期待に応えることを第一と考え、公正で誠実な対応を実践し、お客様との絆を深めます。

【社会・環境に対して】

- 私たちは、環境目的・目標を定めて継続的に環境改善に努め、事業活動を通じ地球環境・地域社会との調和ある成長を目指します。
- 私たちは、省エネ・省資源・リサイクルの推進により廃棄物、二酸化炭素を削減し、環境保護と汚染の予防、気候変動の緩和と気候変動への適応に努めます。
- 私たちは、社会・経済の要請に応え、法令等を守り、「人間性尊重」の経営を実践します。
- 私たちは、コミュニティの成長と豊かな社会作りを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。
- 私たちは、交通安全対策へ積極的に取り組みます。

【取引先に対して】

- 私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共栄共存の実現に取り組みます。
- 私たちは、独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守します。
- 私たちは、社会通念の範囲を超える利益の供与、申し出、約束をせず、自由で公正な取引を維持します。

【茨城トヨペットのメンバーに対して】

- 私たちは、安全で健康的な職場環境作りに努めます。
- 私たちは、労働関連法令を遵守すると共に必要な自主基準を設け管理レベルの向上を図ります。
- 私たちは、継続的な安全衛生水準の向上を目指し、『作業手順書』に沿った作業の遂行を徹底します。
- 私たちは、危険ゼロ・健康障害ゼロを目指すために、危険性又は有害性等を調査し実施事項を決定して、事故・労働災害の未然及び再発防止を図ります。
- 私たちは、メンバーが生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神にのっとり、互いを思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重します。
- 私たちは、メンバーが誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう、個々人の自己啓発・成長を支援します。
- 私たちは、機密情報を厳重に扱うとともに、適時的確な情報開示に努めます。

令和6年4月1日
茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長 幡谷 俊一郎

社会貢献活動

これからも、
地域に密着した企業市民として

茨城トヨペットは、企業市民として各事業所周辺の皆さまとの交流を深め、
地域社会の活性化、自然保護、文化的貢献など幅広い方面での社会貢献を追求しています。
今後も、地域市民の皆様の声に耳を傾け、より豊かなまちづくりのため、
地域市民の皆様とともに積極的な活動を進めます。

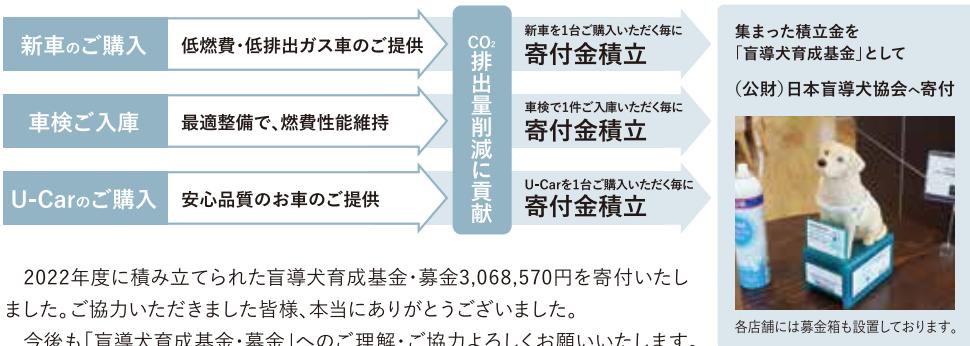
「盲導犬育成基金」を積立て(公財)日本盲導犬協会へ寄付

茨城トヨペットでは「車両ご購入」「車検ご入庫」1台ごとに売上の一部を盲導犬育成基金として積立てております。

ご購入いただきました皆様も「CO₂の削減に貢献する車を普及」させると同時に積立金を通じ、

盲導犬の育成にご協力いただいていることとなります。

皆様のご協力により、当社の基金でこれまでに13頭の盲導犬がデビューしています。



人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ

日本盲導犬協会
<https://www.moudouken.net>

AED(自動体外式除細動器)を全店に配置



茨城トヨペットでは、ご来店いただいたすべてのお客様が安全、安心かつご不便なく快適に店内をご覧いただけるように、ご高齢の方や体が不自由なお客様はもちろん、どなたでも安心してご来店いただきご相談できるお店づくりを実践します。

また、全店にAED(自動体外式除細動器)を設置し、お客様や社員の安全確保に努めています。

幼児向け交通安全教材の贈呈



社会貢献活動の一環として県内のご希望いただいた幼稚園や保育所に、交通安全の大切さを楽しく学べる教材をプレゼントしています。

本年度は交通安全絵本「クックのこうつうあんぜんえほん『たのしいはくらんかい』」を寄贈。

絵本は道路への急な飛び出しや幼児の一人歩きの危険性を、ひよこをモチーフとしたキャラクター「クック」を用い、分かり易く説明したものです。

セーフティーキャンペーンを展開



茨城トヨペットの各店舗では、もしもの時の災害に備え地域の皆様のお役に立てるよう、非常用保存水を備蓄し、自然災害発生時、被災地への支援に備えております。

キャンペーン期間には店頭にて備蓄していた保存水をお配りしております(数に限りがございます)。



季刊情報誌「さんさん」発行



茨城トヨペットでは、ユーザーの皆様に、車についての知識、関心を深めていただきますとともに、楽しく快適なカーライフをお送り頂くことを目的に、季刊情報誌「さんさん」を刊行し、希望のお客様に郵送しています。本冊子は茨城トヨペット各店のショールームでも無料配布しております。また「さんさん」のバックナンバーは、茨城トヨペットホームページにてご覧いただけます。

すべての人に快適な移動の自由を提供 福祉車両「ウェルキャブ」販売

ウェルキャブステーション
茨城トヨペットつくば西大橋店



※写真はイメージです

「すべてのお客様に移動する自由をもっと身近に、もっと快適に感じてもらいたい」という願いを込めて、2013年4月につくば西大橋店にウェルキャブステーションを設置しました。

トヨタの福祉車両(ウェルキャブ)は、お客様一人ひとりの様々な事情や使い方に合わせたカスタマイズによるきめ細やかな対応が可能です。

ウェルキャブステーションでは、ウェルキャブ車両の常設展示や専門スタッフによる適切なアドバイスを行っています。

Event

茨城トヨペットは、地域の皆様との交流を深めるとともに、
地域活性化を目的とした各種施策・イベントの企画・実施、各種イベントへ車両提供などの活動を展開しています。

※掲載のイベントは一例です。

かすみがうらマラソン兼 国際ブラインドマラソン2023に協力



2023年4月16日(日)、川口運動公園にてかすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン2023が開催されました。

当大会は、健常者・障がい者の壁を取り払い、互いに敬意をもって取り組む独自性の高い大会運営を目指しています。

当社からは合計10台(計時車、審判長車、救護車など)を提供しました。

村松海岸清掃に参加



2023年9月24日(日)、東海村の「NPO法人真砂山FUNクラブ」様と共に、活動エリアである笠松運動公園店のセールスコンサルタントが地域貢献の一環として『村松海岸清掃』に参加しました。

日頃からゴミの分別を実施していますが、それ以前にゴミを出さないことが重要であると考えさせられたボランティア活動でした。

小学校で未来モビリティ プログラミング教室を開催



2023年11月15日(水)、境町立長田小学校の5年生を対象に『未来モビリティ プログラミング教室』を開催いたしました。

この教室はトヨタの活動や想いを伝え、体験することで子どもたちに「ICTがもたらす社会革新への期待感・地域や社会課題を主体的に解決しようとする態度・プログラミングの思考」の促進を目指し毎年開催しています。

ノープルホームとのタイアップイベント 西牛谷フェスティバルを開催



2024年3月9日(土)・10日(日)の2日間、ノープルホーム様とのコラボレーション企画として、ノープルホームの古河市の分譲地を利用した、お客様が楽しみながら防災も学べるイベントを開催しました。

模擬停電体験や車中泊体験のための車両を古河東牛谷店から提供し、防災意識の浸透やトヨタの給電の紹介をしました。

鹿島アントラーズサッカー教室開催



2023年6月11日(日)、鹿島アントラーズ様からトレーナーを招いて、神栖店・神栖知手店・潮来店の3店舗が協力しサッカー教室を開催いたしました。

会場はカシマサッカースタジアム近くのト伝の郷運動公園。

茨城県内のサッカー好きの小学生約40名が参加し、サッカー教室の後はスタジアムでの試合観戦を楽しみました。

AED体験会を開催



2023年9月17日(日)、常総石下店ショールーム内にて「AED体験会」が開催されました。

人形を倒れた人に見立て「5分以内」に協力してAEDを使用するなど、親子で救命について学びました。

参加者からは、学校以外でもこのような学びの機会があるのはいいですね、と感想をいただきました。

第39回水戸市 元旦マラソン大会に協力



2024年1月1日(祝)、第39回目を迎える水戸市元旦マラソン大会が千波湖(水戸市)にて開催されました。

この大会では、毎年幡谷会長がスタートを努め、新年の幕開けを祝います。

当社からは大会で選手が着用するゼッケンと、大会救護車としてアルファードを提供し大会を盛り上げました。

第21回茨城トヨペット杯 小学生ドッジボール大会を開催



参加する全員が競技を通してひとつの目標を掲げ努力し、子どもたちの健全な育成を目指すことを目的としてドッジボール大会を毎年開催しています。

2024年3月23日(土)に水戸市のアダストリア水戸アリーナで行われた今大会も熱く・楽しく・激しい戦いを繰り広げました。

イベントの開催・出張授業などをご希望の企業・団体の方は巻末の応募フォームからご連絡ください。担当者からご連絡させていただきます。

特集 でんき について 考える

カーボンニュートラルの実現は、
今、我が国が取り組むべき課題の一つです。
大気中における二酸化炭素(CO₂)の増加が、
地球温暖化の一因と考えられています。

自動車においては、製造から走行、
廃棄までの各段階で多くのCO₂を排出しています。

そんな自動車を扱う私たちだからこそ、
CO₂の排出削減や地球温暖化対策など、
持続可能な社会の実現の重要性を
お客様と共に考えたいと思っています。



資料協力：トヨタ自動車株式会社 中部電力ミライズ株式会社

地球温暖化

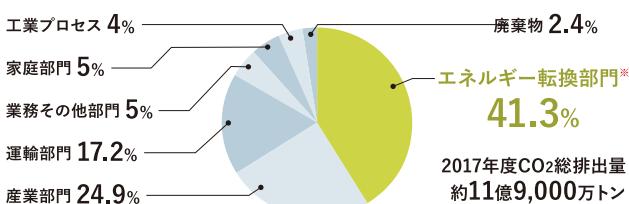
地球温暖化の主な原因是、化石燃料の消費による二酸化炭素(CO₂)の増加と考えられています。

地球温暖化防止のためには「エネルギー」の使用に伴うCO₂の排出量を減らしていく必要があります。

POINT

日本のCO₂排出量の約4割は、
エネルギー転換部門(発電所等)から出ています。

日本の部門別CO₂排出量の割合(2017年度)



化石燃料の今

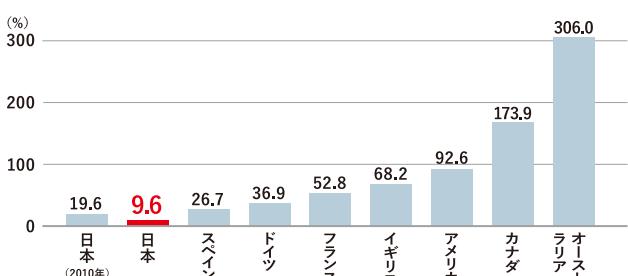
化石燃料(石油・石炭・天然ガス)は限りのある資源です。また、いずれも消費量は年々増加し続けています。

日本は資源が乏しく、化石燃料のほとんどを輸入に頼っているため、海外の諸情勢により価格急騰などの影響を受けるリスクがあります。

POINT

日本のエネルギー自給率は、わずか9.6%。
主要国35か国中、下から2番目の低さです。

主要国の一次エネルギー*自給率(2017年)



資源エネルギー庁「日本エネルギー2018 日本の今を知る10の質問」のデータをもとに作成

様々な発電方法

現在の日本での主な発電方法として、火力・原子力・水力・太陽光・風力があります。発電方法には、それぞれ特徴があります。

また、発電所でつくられた電気は、送電線や変電所、配電線などの電力設備を通してご家庭に届けられます。

火力

(石炭・石油・LNG)
○大量に発電できる。 △資源に限りがある。
△燃料の価格変動が大きい。 △発電時にCO₂を排出する。

原子力

○大量に発電できる。 ○発電時にCO₂を排出しない。
△事故時の社会的影響が大きい。

水力

○発電時にCO₂を排出しない。 △水不足時は発電できない。
△開発可能な地点が限定されている。

太陽光

○発電時にCO₂を排出しない。 △電力需要の変化に対して発電量を調整できない。 △大量に発電するには広い土地が必要。

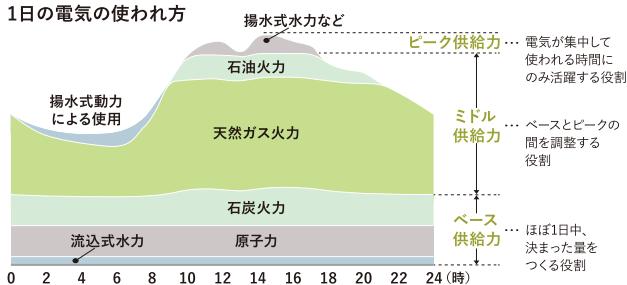
風力

○発電時にCO₂を排出しない。 △騒音、景観への影響がある。
△電力需要の変化に対して発電量を調整できない。

発電量と消費量

電気は大量に貯めておくことができないため、常に電力の需要に合わせて供給量を維持しています。良質な電気をお届けするために、電気の使用量を予測し、変化する電気の使用量に合わせてさまざまな発電方法を組み合わせています。

POINT 変化する電気の使用量に合わせて、いろいろな発電方法を組み合わせて電気を作っています。



エネルギー政策の基本方針 “S+3E”

火力・原子力・水力・太陽光・風力などによる発電をバランスよく組み合わせ、それぞれの特長を最大限に活用するベストミックスが重要です。安全性(Safety)を大前提とし、安定供給(Energy Security)、経済効率性(Economic Efficiency)、環境適合(Environment)を同時達成するべく、取組みを進めています。



店舗で太陽光発電を積極的に導入

茨城トヨペットはカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、CO₂を排出しない太陽光発電を積極的に導入しています。

現在、水戸千波店・ひたちなか昭和通り店・つくば学園の森店・つくばみどりの店・神栖知手店の5店舗にソーラーパネルを設置しております(2024年4月現在)。これからも設置店舗を増やしていく予定です。



電気代 節約セミナーを開催

トヨタ自動車株式会社、中部電力ミライズ株式会社の協力のもと、一般のお客様を対象に「電気代 節約セミナー」を開催しました。

電気の節約術や省エネ製品の比較、再生可能エネルギーによる脱炭素社会の実現など、家計にも環境にも負荷の少ない暮らしについて、お客様と共に考えました。



全国の自動車ディーラー初

「グリーンでんき」の取り扱い開始

地球環境を守っていく活動を地域の皆様と共に進める取り組みとして、全国の自動車ディーラーで初めてクルマもお家もCO₂を排出しない「グリーンでんき」の取り扱いをスタートしました。

ご家庭で使用する電気をグリーンでんきに切り替えるだけで、毎日の暮らしから出るCO₂を削減することができます。

グリーン
でんきとは

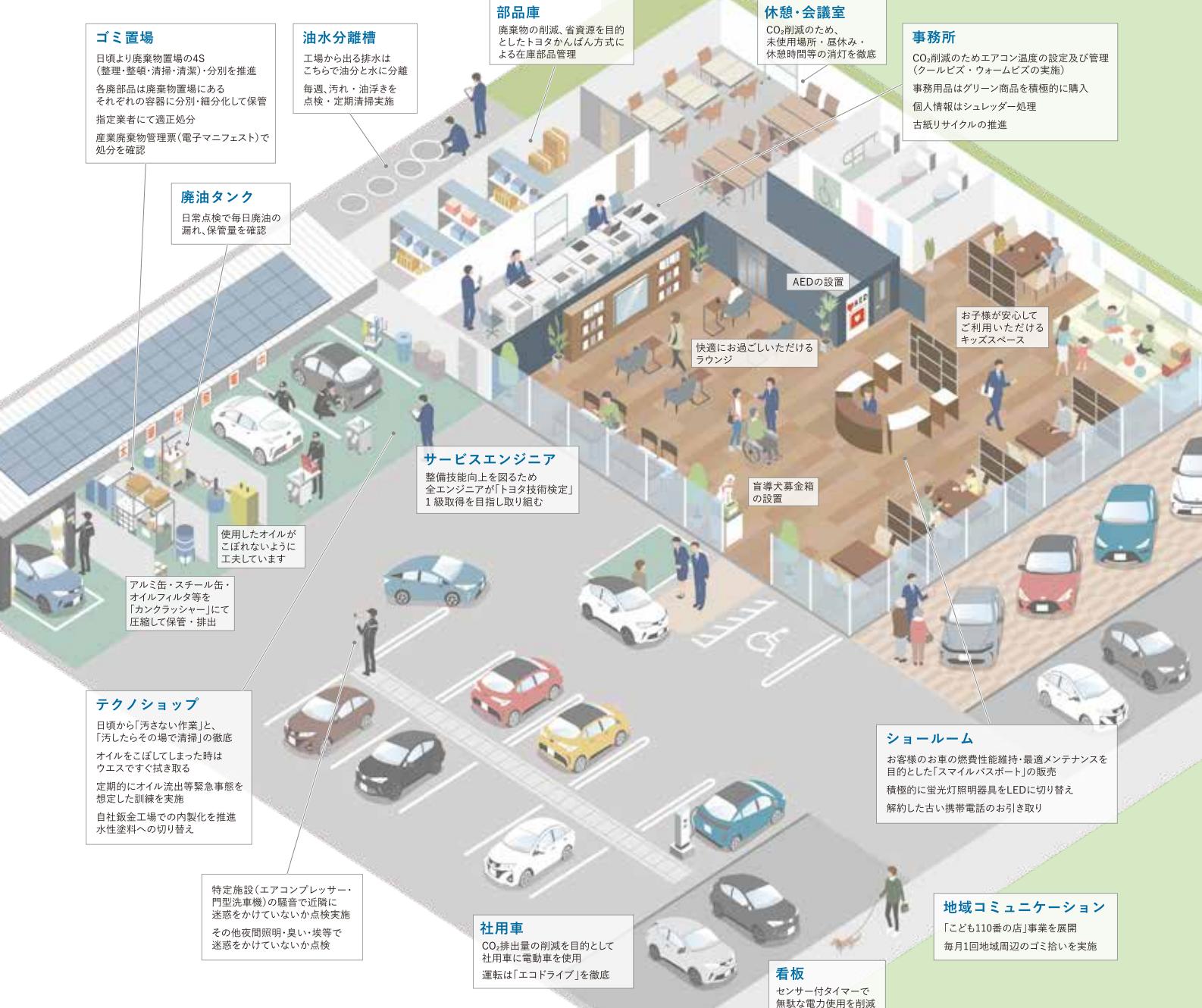
中部電力ミライズ株式会社が調達した電気に、太陽光発電などの再生可能エネルギー電源に由来する非化石証書の使用により環境価値を付加することで、実質的に再生可能エネルギー100%かつCO₂ゼロエミッションの電気を提供するサービスです。



環境保護活動

地球環境の保護と
豊かな社会を実現するために

かけがえのない地球環境を守り、次の世代へと残していくことが現在を生きる私たちの重要な使命だと考えます。私たちはより環境にやさしい企業を目指し、自然とのふれあいやクリーンアップ活動等に取り組んでいます。



ユニフォームを回収し、資源として再利用



茨城トヨペットでは、使用済みのユニフォームを回収し、廃棄物ではなく資源として再生し、自動車の断熱材や防音材等、新たな製品にリサイクルする活動に取り組んでいます。

限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会の実現に寄与していきます。

ユニフォーム
リサイクル



社用車を電動車に



茨城トヨペットは地球環境保護活動の一環としてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。社用車として「プリウス」や「MIRAI」など電動車を多数使用しています。

環境活動の国際規格、ISO14001認証取得

ISO14001とは

ISO14001とは、企業や組織が環境保護に取り組むためにISO※が定めた環境マネジメントシステムの国際規格のことです。

ISOより認定を受けた機関が、企業のこの規格に対する適合状況(マネジメントシステムの構築と運用状況)を審査し、合格すれば認証を取得できます。認証取得後も継続して維持審査(定期審査)、更新審査があります。

※International Organization for Standardization:国際標準化機構

茨城トヨペットでは、2001年4月に「環境委員会」及び委員会をサポートするチームとして「ISO推進事務局」を発足、環境マネジメントシステムの取り組みを開始しました。「販売」「整備」「廃棄」にかかる過程での環境影響に対応するため【低燃費・低排出ガス車の社会への提供】【廃油・廃部品の適正処理】【テクノショップの管理】【CO₂の削減】などの環境目標を設定しました。(P18・P19参照)

設定した環境目的・目標が計画通りに進んでいるか、決まりや手順がきちんと運用されているかをチェックするため、毎年社内監査チームによる【内部監査】、1月には当社の環境マネジメントがISO14001の要求事項に適合して構築・運用されていることを確認する第三者機関による【定期審査】が行われます。



ISO14001登録証

私たち茨城トヨペットは、持続可能な開発をテーマに、法規制の遵守などにとどまらず、自主的、積極的かつ継続的に環境保全に取り組むためのマネジメントシステムを定めた国際規格「ISO14001」の認証取得に県内でもっと早く着手してきました。

ISO認証取得活動取り組みから20年以上が経過しましたが、私たちがすべきことはまだたくさんあります。そして2006年からは、環境問題はもとより、あらゆるステークホルダーを重視した経営が重要だと考え、「企業の社会的責任=CSR」に取り組んでいます。

これからも地域社会から信頼される企業市民として成長を持続できるよう、お客様、地域社会、取引先、茨城トヨペットのメンバーなど、すべてのステークホルダーを重視した経営を実践いたします。

茨城トヨペットでは、2001年度にまず2店舗の「ISO14001」認証を取得。順次認証範囲を拡大し、2024年4月現在本社及び38事業所のISO14001認証を取得しています。

■ ISO14001認証拠点

本社、水戸千波店、大宮バイパス店、日立田尻店、日立森山店、牛久南店、筑西神分店、石岡東大橋店、江戸崎店、古河東牛谷店、坂東店、大津港店、大子バイパス店、笠間大鳥居店、下妻店、常総石下店、神栖店、守谷松並店、ひたちなか昭和通り店、潮来店、テクノセンター、U-Carセンター6号水戸店、笠松運動公園店、小川野田店、つくば西大橋店、6号取手店、竜ヶ崎出し山店、ひたち野うしく店、神栖知手店、土浦荒川沖店、つくば東大通り店、土浦並木店、U-Carセンター6号みのり店、つくば学園の森店、つくばみどりの店、GR Garegeつくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば、レクサスCPO神栖
(2024年4月現在)



生ごみを堆肥に



本社社員食堂から出た生ごみは生ごみ処理機で処理することで大幅なごみ減量化、ごみ処理費用の削減になります。年間約2,400kg排出していた生ごみは80%以上が水と炭酸ガスに分解され、発酵分解した残りは有機肥料の原料になります。

茨城エコ事業所認定



「茨城エコ事業所」
シンボルマーク

茨城エコ事業所登録制度は、事業所の規模や業種等に関わらず、環境に配慮した取組を行う事業所を、茨城県が「茨城エコ事業所」として登録して、その取組を広く県民の皆様に紹介することにより、環境に配慮した取組の普及・啓発を図り、環境への負荷の少ない循環型社会づくりに寄与することを目的としています。茨城トヨペットは、2008年10月14日付で茨城エコ事業所として登録認定されました。

茨城県環境保全プロジェクト トヨタソーシャルフェス2023に参加



自然と親しみながら環境について考えるTOYOTA SOCIAL FES!!。2023年10月22日(日)、幅広い年代の約170名(当社からは約20名)が参加し、那珂川の河口付近に架かる海門橋周辺の清掃活動や環境学習などに取り組みました。

上流から流れ着いたペットボトルやタイヤ、発泡スチロールなどのゴミを拾い集め、1時間の清掃で集めたゴミの総重量は約135kgに達し、その量と重さに参加者は驚いた様子でした。

清掃活動の後は、海門橋近くの願入寺

■2023年10月22日(日) 開催
■主 催：特定非営利活動法人 大洗海の大学
■共 催：茨城新聞社
■後 援：大洗町
■協 力：大洗サーフ・ライフ・セービングクラブ

に移動し、オリジナルのキーホルダーを作りました。キーホルダーの材料には、微細な海洋ゴミ「マイクロプラスチック」を使用。制作したキーホルダーには「環境問題を自分の問題として考えてほしい」という思いが込められています。

キーホルダー作りを通して環境について学んだ参加者は「日常生活で出るゴミを多く拾った。生き物がマイクロプラスチックを食べないよう、細かくなる前に回収したい」と海洋ゴミが生き物に与える被害に思いを巡らせしていました。

TOYOTA SOCIAL FES!!
活動の記録
2021-2023はこちら



地球のため、地域のため、未来のために 環境保全に自主的かつ積極的に取り組んでいます。

環境報告



■写真は全て 茨城トヨペット ひたちなか昭和通り店

1 低燃費・低排出ガス車の社会への提供

1997年、世界初の量産型HEVとして誕生したプリウス。発売以来、日本国内はもとより世界中でたくさんの方々に愛されております。

茨城トヨペットでも、この世界最高の環境性能を追求したプリウスをはじめとする環境負荷の低いHEV・PHEV・FCEVなどの電動車をお客様にお届けしています。

2023年度
電動車販売台数

5,463台

2 安心品質のお車の提供

下取したお車の徹底した事前点検と社内クリーニング、エンジンオイルやエレメント交換等の整備を行い、次のお客様に高品質かつ安心の中古車をお届け。トヨタならではの「3つの安心※1」をセットにしたトヨタ認定中古車も数多く取り揃えるなど、環境保全型ビジネスを推進しています。

※1:車両検査証明書、まるごとクリーニング、ロングラン保証

2023年
U-Car小売台数

2,656台

3 お客様のお車の燃費性能維持

茨城トヨペットには、レースや技術コンクールに出場し、腕を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。トヨタブランドの高い品質と確実な作業で、お客様の愛車の点検・車検整備をスピーディに実施いたします。

また、燃費性能維持、お客様が快適にお車をご使用いただくために、定期的なメンテナンスをサポートするメンテナンスパックメニュー「スマイルパスポート」をお勧めします。

2023年度
車検入庫台数

35,292台

スマイルパスポート
会員数※2

43,482台

※2:2024年4月現在



4 省電力

新店舗や改築時の省電力タイプ照明・冷暖房器具の採用、こまめな消灯やクールビズ・ウォームビズの導入による冷暖房の温度調整などの励行を行ない省電力に努めています。

2023年度の1店舗あたりの使用電力量は2001年度比で69.6%でした。

使用電力量推移

	01年度【基準年】	20年度	21年度	22年度	23年度
使用電力量	4,549,165	3,406,465	3,575,363	3,584,356	3,782,697
1店舗当たり (2001年比)	126,366	79,220 (62.7%)	85,128 (67.4%)	85,342 (67.5%)	87,970 (69.6%)

単位:kwh



5 燃料使用量

当社で使用したガソリン、軽油、灯油などの燃料を原油に換算して年度ごとの使用量を把握しています。社用車、営業車などの車両用としての使用が主な内訳です。低燃費車プリウスの導入やエコドライブなどによる削減を実施しています。

2023年度の1店舗あたりの原油換算使用量は、2001年度比で47.3%でした。

燃料使用量推移

	01年度【基準年】	20年度	21年度	22年度	23年度
原油換算使用量	1,081,007	574,739	617,177	631,846	596,882
1店舗当たり (2001年比)	30,028	14,018 (46.7%)	15,053 (50.1%)	15,411 (51.3%)	14,211 (47.3%)

単位:L

6 CO₂排出量

電力使用量、燃料使用量削減の結果、1店舗あたりのCO₂排出量も削減しています。

2023年度の1店舗あたりのCO₂排出量は、2001年度比で48.1%でした。

CO₂排出量推移

	01年度【基準年】	20年度	21年度	22年度	23年度
CO ₂ 排出量	5,340	2,872	3,329	3,247	2,997
1店舗当たり (2001年比)	148.3	70.0 (47.2%)	81.2 (54.7%)	79.2 (53.4%)	71.4 (48.1%)

単位:t-CO₂(二酸化炭素トン)：さまざまな温室効果ガス(CO₂、メタン、一酸化二窒素など)をCO₂に換算し、t(トン)単位で表示した値。

※2006年度より政府によって公表された電力会社の実績値を用いて算定を行うことが出来るため、電力部分の算定に出光興産公表値を使用しています。

7 廃油・廃部品の適正処理

環境保全は発生源対策が基本と考え、事業活動全般の領域で省資源化・分別・リサイクル推進と廃棄物の削減、汚染の予防に努めています。

2023年度の1店舗あたりの産業廃棄物処理費用は2001年度比50.7%まで圧縮できました。

廃棄物の種類と主な処分方法

古紙・ダンボール・新聞紙・雑誌等	新たな紙製品に再生
樹脂バンパー【トヨタ車のみ】	自動車部品に再生
バッテリー	回収後リサイクル
廃油	重油に再生
金属部品	金属製品に再利用
プラスチック類／ガラスくず及び陶磁器くず／電池／冷却水／シュレッダーくず	回収後、適正に処分（一部リサイクル）
タイヤ	工場燃料に利用
ガラス／蛍光管	ガラス製品に再生



油水分離槽
工場から出る排水は
こちらで油分と水に分離



ゴミ置き場
日頃より廃棄物置き場の4S
(整理・整頓・清掃・清潔)・分別を推進

産廃処理費用推移

01年度【基準年】	20年度	21年度	22年度	23年度
産廃処理費用	20,611	11,464	12,451	12,207
1店舗当たり (2001年比)	606	280 (46.1%)	311 (51.4%)	305 (50.4%)

単位:千円

8 古紙リサイクルの推進

茨城トヨペットでは、オフィスから出る紙をリサイクルする取り組みを2009年度より始めました。

2023年度は樹齢30年の木 約2,057本分※3がリサイクルできました。

※3:50kgの紙は樹齢30年の木1本分と言われています。

2023年度
古紙リサイクル量
(全店)

102,870kg

9 トヨタ技術検定

トヨタの技術力を支えるサービスエンジニア。茨城トヨペットには技術を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。

2023年度 トヨタ技術検定1級保有状況

保有者数	保有者比率	店舗あたり
192人	66.2%	4.8人

2023年度 トヨタエスティメーション(鉢金見積もり)検定1級保有状況

保有者数	1級在籍店舗比率
137人	100%

自動車販売店として、より環境負荷の少ないHEV(ハイブリッド車)やFCEV(水素燃料電池車)などの電動車をお客様へ紹介し、提案することが私たちの使命の一つだと考えています。

また、脱炭素の取り組みとして、事業活動において発生するCO₂の排出量を少なくするため、日常の業務の効率化・平準化による省エネ推進をマネジメントしています。

仕事の効率化・平準化は省エネだけではなく、夜間の作業の低減、スタッフの残業時間の削減にもなり、ワークライフバランスの向上も期待できますので、今後も重点的に取り組んでいきます。



茨城トヨペット
ひたちなか昭和通り店



●2001年度は環境マネジメント導入開始年ため、全てのデータで基準年度としています。

環境目的・目標

環境目的	環境目標	環境影響	評価
環境保全型ビジネスの推進	低燃費・低排出ガス車の社会への提供	低燃費車・電動車の普及	△
	安心品質のお車の提供	U-Car販売の促進	△
	お客様のお車の燃費性能維持	車検入庫台数目標達成	△
	安心品質のお車の提供・省資源の推進	鉢金整備台数の向上及び再修理率の低減	資源枯渇低減
	盲導犬基金への協賛	新車受注毎の積立 U-Car販売毎の積立 車検ご入庫毎の積立	社会貢献 盲導犬の普及
環境保全活動	CO ₂ の削減	電気使用量の削減 燃料使用量の削減	地球温暖化防止／資源枯渇低減
	省資源の推進	古紙リサイクルの推進 蛍光灯リサイクルの推進	森林保護 資源枯渇低減
管理体制	廃棄物の適正処理	リサイクルの推進と廃棄物の削減	生活環境の保全／公衆衛生の向上
	エアーコンプレッサー・洗車機の騒音管理	運用手順の遵守、自主点検の実施	健康障害予防
	緊急事態への対応	油水分離槽の点検・定期清掃実施 緊急事態発生時の対処方法訓練実施	水質保全／公害防止

NETWORK

県内全域に及ぶ安心のネットワーク

お客様のカーライフを県内全域に及ぶ安心のネットワークとサービスエンジニアの確かな技術でトータルサポートいたします。

ご自宅の近く、勤務先の近く、通勤途中などお近くの店舗をご利用いただけます。



au 茨城トヨペットは全店で
au携帯電話がご購入いただけます。

※GR Garage つくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば、
レクサスCPO神栖、WASH&FOLD水戸千波店を除く。

会社概要 Corporate Information



設立 1956(昭和31)年11月1日
代表取締役会長 横谷 定俊
代表取締役社長 横谷 俊一郎
資本金 5,000万円
従業員 785人(2024年4月現在)

営業状況(2023年3月期)

売上高	457.3億円
新車販売台数	7,947台
U-Car小売台数	2,656台
車両総整備台数(社外)	207,576台
車検整備台数	35,292台

事業内容

トヨタの新車販売、ウェルキャブ車販売、各種優良中古車販売(国産車)、自動車関連商品販売、メンテナンスパック:スマイルパスポート販売、自動車の点検・整備・修理業務、自動車買い取り(T-UP)、自動車リース、保険代理店(損害保険・生命保険等)、モバイル商品取扱い(au携帯電話販売等)、レクサス事業、カーシェアリング事業、洗濯代行・コインランドリー事業、キャッシングカー事業

県北エリア



① 大津港店 ★
北茨城市関南町神岡下339-1
0293-46-5551



② 日立尻尾店 ★
日立市田尻町4-36-1
0294-42-9611



③ 日立森山店 ★
日立市森山町5-1-8
0294-52-6306



④ 大子バイパス店 ★
久慈郡大子町池田1312-2
0295-72-5671



⑤ 大宮バイパス店 ★
常陸大宮市泉517-6
0295-52-1171



⑥ 笠松運動公園店 ★
ひたちなか市佐和2335-7
029-285-4111



⑦ ひたちなか昭和通り店 ★
ひたちなか市中根888-1
029-272-5671

県央エリア



⑧ アートタワー水戸店 ✽
水戸市千波町1987
029-387-3373



⑨ 水戸千波店 ★
水戸市千波町2028-1
029-241-1121



⑩ 笠間大鳥居店 ★
笠間市飯合100-1
0296-74-4511



⑪ 小川野田店 ★
小美玉市川戸1353
0299-58-2831



⑬ U-Carセンター6号水戸店 ★
東茨城郡茨城町長岡4255-3
029-292-7221



⑭ U-Carセンター6号みのり店 ★
小美玉市西郷地1531-7
0299-48-2070



⑮ WASH&FOLD 水戸千波店
水戸市千波町1913-5
029-241-4040

※アートタワー水戸店は店舗改装のため、仮設店舗へ移転して営業しております。詳しくはホームページをご覧ください。

県南エリア



⑫ 石岡東大橋店 ★
石岡市石岡2930
0299-23-2291



⑬ 土浦並木店 ★
土浦市上坂田1468
029-862-3111



⑭ 土浦荒川沖店 ★
土浦市荒川沖471-1
029-842-1234



⑮ ひたち野うしく店 ★
牛久市ひたち野東1-24-4
029-871-4361



⑯ 牛久南店 ★
牛久市牛久町822
029-873-3936



⑰ 6号取手店 ★
取手市井野台4-1-1
0297-74-8111



⑱ 竜ヶ崎出し山店 ★
龍ヶ崎市野原町79
0297-62-7631



⑲ 江戸崎店 ★
稲敷市江戸崎甲2561-1
029-892-5671



⑳ つくばみどりの店 ★
つくば市みどりの2-39-3
029-836-8868



㉑ つくば東大通り店 ★
つくば市妻木745-2
029-852-3234



㉒ つくば学園の森店 ★
つくば市学園の森3-7-1
029-856-7211



㉓ つくば西大橋店 ★
つくば市西大橋648-3
029-858-2850



㉔ 守谷松並店 ★
守谷市松並2000-42
0297-46-3511



㉕ U-Carセンター土浦高津店
土浦市上高津726-3
029-823-6116

県西エリア



㉖ GR Garageつくば ★
AREA298
つくば市学園の森3-2
029-859-5586



㉗ レクサスつくば ★
つくば市竹園1-4-3
029-855-7301



㉘ レクサスCPOつくば ★
つくば市西岡418-59
029-861-1150



㉙ 筑西神分店 ★
筑西市神分393-1
0296-24-5311



㉚ 古河東牛谷店 ★
古河市東牛谷492-5
0280-98-0500



㉛ 下妻店 ★
下妻市田下661
0296-43-3706



㉜ 常総石下店 ★
常総市新石下1648-1
0297-42-0567

鹿行エリア



㉖ 坂東店 ★
坂東市辺田1402-73
0297-36-0567



㉗ 潮来店 ★
潮来市上戸304-1
0299-64-6010



㉘ 神栖店 ★
神栖市堀割3-3-8
0299-92-5420



㉙ 神栖知手店 ★
神栖市知手3106-19
0299-95-1121



㉚ レクサスCPO神栖 ★
神栖市木崎2406-181
0299-93-2322



環境活動の国際規格、
ISO14001認証取得

茨城県内のトヨタ系販売店唯一のISO取得。
茨城トヨペットはこれからも積極的に環境問題に取組んでいきます。

★ISO認証店舗(適用範囲:自動車の販売、整備及び修理)

TOPIX

日本最大級のクラシックモーターショー“ノスタルジック2デイズ2024”に初出展



茨城トヨペットでは、オーナーが大切にしてきた車両を甦らせたいという想いに応えるため、旧車のレストアを新たな事業として展開します。従来の新車販売やメンテナンスに加え、お客様が愛着を抱く保有車をレストアすることで、クルマのロングライフをサポートします。

また、エンジニアたちも古い車を整備するレストア技術を受け継ぎ、現役で走れる旧車の復元に積極的にチャレンジしています。

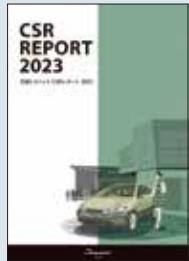
事業の本格始動に向けての第一歩として、日本最大級

のクラシックモーターショーである“ノスタルジック2デイズ2024”に初出展しました。今回は当社でレストアした初代クラウンと、レストア中のマークII(GX71)を展示いたしました。

これからの展開に向け「茨城トヨペット 旧車レストア」へのご声援をいただけると幸いです。

Nostalgic 2days 2024

■2024年2月17日(土)・18日(日) 開催
■会場: パシフィコ横浜 展示ホール



Message From Readers

前号(茨城トヨペットCSRレポート2023)にてお客様から寄せられた ご意見・ご感想

本誌へのご意見・ご感想

- 女性社員の活躍が具体的に紹介されていて、とても良かったです。くるみんマーク認定も素晴らしいです。
- 冊子の郵送は大変ありがとうございます。確かにWEB化は紙資源を減らしますが、郵送されて来なければ目を通さなくなると思います。これからも冊子の郵送をお願い致します。
- 茨城トヨペットが、女性の積極的活用や環境保護活動などに幅広く取り組まれていることがわかりました。
- 環境面での活動をはじめ、様々な分野で活躍をしていることがよくわかる編集になっています。また、社員紹介により、貴社が更に身近な存在として感じることができます。
- 「CSR」を知りませんでした。少しわかったような気分です。御社の取り組みも少しですがわかりました。
- 毎年拝読していますが、斬新なテーマばかりで飽きることがありません。期待しています。
- まず紙やインキにまでSDGsを考えているところに驚きました。また、社長さんのご挨拶の後には活躍される女性スタッフの記事を掲載しているところにも、ただただ感心しました。
- 写真が多くてとても読みやすかったです。特に社員の方々の表情が素敵でした。

- トップメッセージを読んで、経営理念を知りました。社員の皆様一人一人にしっかりと、理念が浸透していることを、日頃の触れ合いから実感しました。確かな企業の在り方を感じ取りました。
- 冊子の作り込みが時代を反映していて、製本、紙質、記事の内容に好感が持てました。
- 初めて拝見させてもらいました。様々な活動に真剣に取り組み、とても素晴らしいと思います。今後も期待しております。
- サービスエンジニアに女性スタッフさんがいることに驚きました。格好良いですね。女性ドライバーにとって女性のほうが気軽に整備の相談がしやすいと思う時もあるので嬉しいです。
- イラストやデザインがおしゃれで、若年層の方にも手に取りやすいなと思いました。車にあまり興味ない私でも、もっと知りたくなる冊子でした。
- 貴社のCSRについて理解することができました。女性社員の登用にも期待しています。
- 環境報告について、どれくらい社会貢献しているのか数値で示してほしい。
- 通常であれば知り得ない企業の取り組みを知ることができて、方針や目指す姿に共感できる。非常に面白い。

茨城トヨペットへのご意見・ご要望

- 茨城県を代表する企業として、今後も社会参加活動など積極的に取り組んでください。
- イベントの年間スケジュールのユーザーへの告知、参加案内などがあれば、個人でも協力ができることがあります。
- 子供、女性、家族向けのイベントを開催してほしいです。
- 入りやすい店舗運営お願いします。ちょっと寄れるところがあるとほっとします。
- 高齢者の事故が相次ぎ発生している今日、高齢者に適した車をプロから推薦してもらいたい。
- 点検等の予約をスムーズに入れられるようにキャバを大きくして欲しい。
- 福祉車のカタログが欲しいし、鹿嶋市か神栖市で車椅子が乗せられる車のイベントを開催して欲しいです。
- これからも安心、安全なモビリティサービスの提供をよろしくお願いいたします。

- 我が家の中は整備から車検迄お任せしています、それはおもてなしと信用以外にありません。これからもよろしくお願ひします。
- 茨城トヨペットの社会貢献活動が、もっと多くの人々に知れ渡り、活動の輪が広がると良いですね。
- 納車時期が非常に長く乗換えを躊躇してしまいます。少しでも新車の納期が縮まり、一日も早く以前の状況に戻る様にご対応宜しくお願ひします。
- 誠実、親切、スピード、どれも大切です。私達が安心して利用できるように切にお願い致します。
- 今後も地球環境保全や人材育成等で、トヨタらしさを發揮していただきたいです。
- これからも地域を巻き込んだ取り組みを実施して、若い人の環境に対する意識を高めて欲しいです。
- 今、社会ではコンプライアンスがどうなっているんだというニュースがたくさんあります。立派な社是を念頭に、引き続きお客様に愛される企業でいてください。

読者の皆様が 環境や地域社会へ取り組んでいること

- エシカル消費に心がけています。車もトータルライフでのCFPを考えて購入しています。
- 自宅近くにある「ホタルの里」エリアの環境整備に同志を募って憩い場所にと提供しています。
- 町会の子供育成会主催の、新聞紙、雑誌、ダンボールなどの廃品回収に、積極的に協力しています。
- 地元に生き、地元を離れず、高齢者と共に地元を護っていく、そんな生き方を選んでいます。
- 確実なゴミの分別は勿論、「節約」というより、「無駄」は無くすことに意識をしています。
- 地域社会では、地元商店、地元企業での買い物です。
- 節電量に応じてポイントなどが還元されるキャンペーンに参加して、楽しみながら節電してます。
- 混ぜればゴミ、分別すれば資源!リサイクルの分別をしています。
- 資源回収など小さなことから出来ることを行っています。
- エネルギーの無駄遣いを減らせるよう自宅の室温設定を昨年よりも2度環境に優しくしています。やってみたら平気でした。電気代が昨年よりも安くなり驚きです。
- ペットボトルの飲み物はあまり買わずに(スポーツドリンク等は粉末を購入)捨てるゴミを極力抑えています。
- このアンケートも応募フォームを取り入れたところがいいですね。変えるって、ちょっと勇気が要りますね。
- 個人ではなかなか出来ない事でも、地域が一体となれば出来る事も。お年寄りの家の周りの事を、やれる範囲内で行なっています。
- 生ゴミは、裏庭に埋め肥料にしています。埋めた上にシソを栽培し、食事に使っています。とても香りが良いシソになりました。
- 製品の外袋は捨てずに、生ゴミを入れたり、ゴミ箱用のビニール袋にしたりしています。資源とお金の節約になっています。

たくさんの貴重なご意見・ご感想・ご要望、ありがとうございました。

ご意見・ご感想をお聞かせください

「茨城トヨペット CSRレポート 2024」を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

皆様からのご意見・ご感想などをお聞かせください。いただいたご意見・ご感想は今後の改善に活かしてまいります。

ご意見・ご感想をいただいた方の中から 毎月抽選で10人の方に
茨城トヨペット オリジナル フロントポケットミニサコッシュを
1つプレゼント致します。



■サコッシュの色はお選びいただけません。
■デザインは変更になる場合があります。

本体／約160×180(mm) ショルダー部分／約10×1150(mm)素材：ポリエチル

毎日のウォーキングや気軽なお出かけシーンにおすすめのサコッシュ。
自身の健康維持もSDGsに繋がります。歩いて健康に！

すぐに取り出したい小物を収納するのに便利なフロントポケット付きのミニサイズサコッシュです。目が細かく、高級感のあるポリエチル素材を使用しております。また、口元はファスナー仕様となっているため、財布やパスポートなどの貴重品入れとしても安心です。

■抽選期間:2025年6月まで

■当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

応募要項

スマートフォンから応募の場合

右記の二次元バーコードから応募フォームにアクセスし、必要事項とアンケートをご入力の上、送信してください。



応募フォーム

イベント・出張授業などをご希望の企業・団体の方も
こちらの応募フォームからご連絡ください。
担当者からご連絡させていただきます。

はがきで応募の場合

官製はがきに右下のアンケート応募券を貼り、郵便番号、住所、氏名、年齢(年代)、ご職業、以下のアンケートの答えをご記入の上、下記の宛先までお送りください。

- ① 本誌のご意見・ご感想
- ② 本誌の内容で興味を持たれたところは？
- ③ 環境や地域社会へ取り組んでいる事
- ④ 茨城トヨペットへのご要望

〒310-8790 水戸市千波町2028-1
宛先 茨城トヨペット株式会社
CSRレポート2024事務局 行

■SDGsの観点から、CO₂排出削減等の環境保全を目的として、応募はがきの添付を取りやめスマートフォンからのご応募にいたしました。スマートフォンをお持ちでない方は、大変申し訳ありませんがご自身ではがきをご準備いただき、アンケートをご記入の上ご応募いただきますようお願い申し上げます。

■ご応募はお1人様1回限りとさせていただきます。

■お寄せいただいたアンケートのお答えご意見は、次回発行の「茨城トヨペットCSRレポート」に掲載させていただく場合があります。予めご了承ください。(個人名等は掲載いたしません) ■ご応募いただいた方の個人情報は、プライバシー保護を遵守し、プレゼントの発送業務以外には使用いたしません。

IBARAKI TOYOPET DIGITAL WALLPAPER 2024

人気のクルマがオリジナルデザインの壁紙になりました！
毎月異なる彩り豊かな壁紙データを無料でダウンロードいただけます。

※データサイズは、PC、iPad、iPhone、Android でご用意いたしております。ご利用の端末に合ったサイズをお選びください。



ダウンロードはこちらから

茨城トヨペットは、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて真摯に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

さまざまな分野にまたがる国際社会共通の課題に対し、国や政府だけでなく、企業や市民一人ひとりがSDGsを自分のこととして考え行動していくことが大切です。



この冊子は、計画的に植林された木材から生産された用紙に
環境負荷の低いベジタブルオイルインキを使用して印刷されたものです。



茨城トヨペットのSDGsへの取り組み

茨城トヨペット株式会社

本社／水戸市千波町2028-1 <https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/>

本社 お客様相談テレホン 0120-309567 ※この番号は本社(水戸)に通じます。車検・整備等のお問合せは、お店にお電話下さい。
受付時間：AM9:30～PM5:30(土・日・祝～PM6:00)

※弊社は月曜定休日を基本としておりますが、不規則でお休みを頂く場合もございます。定休日の詳細はホームページをご覧ください。